

淡路家畜保健衛生所、広田に開設



▲開設を記念してテープカットを行う関係者ら

島内の家畜防疫を担う県立の淡路家畜保健衛生所が広田地区に完成し12月4日、関係者ら約60人が出席して開設記念式典が行われました。これは洲本家畜保健所（洲本市）が老朽化したこと、また口蹄疫や鳥インフルエンザなどの伝染病に対する防疫機能の充実を図るため建設されました。同施設の渡辺理所長は「感染力が強い伝染病に対応できる施設ができ喜ばしい」と話しました。

明るい選挙啓発ポスター展示

南淡図書館で2月1日～13日の期間、明るい選挙啓発ポスターの入選作品23点が展示されました。

毎年、市選挙管理委員会では小・中学生を対象に「明るい選挙啓発ポスター募集事業」を実施しています。

同委員会は「明るい未来を願う子どもたちから色鮮やかな作品が集まった。有権者のみなさんには投票率の向上、公平公正な選挙の実現に協力をお願いしたい」と話してくれました。



▲南淡図書館に展示された明るい選挙啓発ポスター入選作品

福良漁港で水産まつりを開催



▲振舞いに列を作る来場者たち

福良漁業共同組合前で1月26日、水産まつりが開催されました。

これは市内5つの漁協でつくる市水交会が市内の新鮮な海産物に親しんでもらおうと毎年この時期に行われ、今年も毎月第4日曜日に開催されているうずしお朝市とあわせて開かれたこともあり大勢の人で賑わいました。

この日は、福良漁協による淡路島3年とらふぐのてっさやてつちりのほか、あおりいかの天ぷらや新鮮ワカメのしゃぶしゃぶ、太刀魚の天ぷらなどが各漁協によって振る舞われ、市内の新鮮な海産物を味わおうと地元の人や観光客ら

で長い行列ができていました。漁業関係者ら約30人が参加して行われた神事では、豊漁と海上での安全を祈りました。市水交会の前田吉計会長は「(8回目の)水産まつりを開催できてうれしく思う」とあいさつしました。



▲漁業関係者らによる稚魚の放流

ふるさと南あわじ応援寄附金

ご寄附ありがとうございました。

ふるさと南あわじ応援寄附金		
寄附状況の公表 (2月14日現在)		
区分	件数	金額
南あわじ市内	420件	58,926,719円
市外(島内)	60件	11,363,000円
市外(島外)	280件	33,494,940円
合計	760件	103,784,659円

詳細は市のホームページに掲載しています

吉備国際大学からのお知らせ

◆ランチ・タイム講座

2月19日(水)、今年度ランチ・タイム講座の全日程が終了しました。

平成26年度も5月～9月にかけて同様の講座を開催する予定です。テーマおよび開催日時・希望受講者募集につきましては決まり次第広報紙に掲載します。今年度の経験を活かし、来年度も市民の皆さまへ様々な話題が提供できるように考えておりますのでよろしくお願ひ致します。

◆平成26年度地(知)の拠点整備事業によるシンポジウム

今年度文部科学省に採択された「地(知)の拠点整備事業」

を受けて昨年11月に「第1回植物保護シンポジウム レタスピックペイン病の防除に向けて」、12月「第1回地(知)の拠点シンポジウム」を開催いたしました。平成26年度も継続して様々なシンポジウムを開催する予定です。詳細は後日掲載いたしますので興味のある方は是非ご参加ください。

◆開催予定シンポジウム

▽イネの品種改良に関する公開シンポジウム

▽第2回植物保護シンポジウム
▽第2回地(知)の拠点シンポジウム

◎キャンパス事務局

☎42・4700
☎42・4701

“産・官・学・民・金”マッチングカンファレンス ～地域の資源を活かして～

市では吉備国際大学の誘致を契機として地域創成に向けた様々な事業を展開しています。その1つとして、地域内外の主体をつなぐネットワークを構築するための「地域創成コンソーシアム」の設立を目指しています。

地域創成コンソーシアムを設立するにあたり、多くの人の賛同を得るためのモデル事業として「産・官・学・民・金」マッチングカンファレンス(会議)を開催します。新しい研究や企業などを考えている人の参加をお待ちしています。

日程: 3月10日(月)

会場: 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス

内容: 第1部 事例紹介 他 午後1時～(無料)
第2部 “マッチング”かふえ 午後4時30分～(1,000円※軽食付)

◎市長公室 ☎43-5002
◎NPO法人ソーシャルデザインセンター淡路(木田) ☎090-1157-2113

ふれあい市長室

南あわじへの想いと人とのネットワーク

南あわじ市長 中田勝久

先月は淡路島でも久しぶりの積雪がありました。真っ白な雪景色に感動する一方で明石海峡大橋や神戸淡路鳴門自動車道が通行止めとなるなど、交通機関が混乱しました。お仕事やご旅行など、予定変更を余儀なくされた方もおられたのではないのでしょうか。

さて、2月6日、国の平成25年度補正予算が参院本会議で可決、成立しました。南あわじ市においても、様々なプロジェクトに国や県のお力添えをいただ

いておりますが、防災対策をはじめ、あわじ島まるごと食の拠点施設整備や若人の広場公園整備、教育施設の大規模改造工事などへの支援も今回の補正予算に含まれております。

これまで、国や県、地元選出国議員をはじめ、多くの方々に出会い、お話をさせていただく機会を得て、その中で培ってきた人とのネットワークを大切にしていまいました。

南あわじ市では様々な大型プロジェクトを執行してきましたが、その中にも進み、財政指標も改善してまいりました。しかし、市単独財源のみで出来ることは限られております。大きなプロジェクトを計画し、

着手・完成するためには、国や県からもご理解とご支援をいただく必要があります。しかし、単にお願いに伺

うだけで、一朝一夕に支援をいただけるわけでは決まておりません。国、県でも行政改革により厳しい財政状況にありますし、地域主権改革が叫ばれる中、地域が自ら考えて積極的に行動し行政が全面的なバックアップ体制を整え、ふるさとまるごと一丸となつてその熱意を伝えご理解をいただく必要があります。私自身、市の代表として、国や県、国会議員の方々へ何度となく支援のお願いに行かせていただきましたが、その際も各プロジェクトの意義、それにかける南あわじの強い想いを伝える努力を重ねてきました。地道な積み重ねではあります。結果として今ではその強い想いをご理解いただき、多くのご支援をいただけるようになってまいりました。